

遊び発見隊ニュース

遊び発見隊とは…

小林公民館の主催事業です。小学校4～6年生を対象として、1年間を通して行っています。

いろいろな遊びや自然体験活動を通じて、思考力、判断力、表現力などの「生きる力」を養い、協調性を高め、自らの新たな可能性を発見することを目的としています。

平成7年度から継続して行っており（途中名称変更等あり）、修了者は現在さまざまな分野で活躍しています。

今年の活動

今年は、より充実した事業を行うことを目的に、中央公民館のジュニア・コースと合同で事業を進めています。受講者は17名です。

	月 日	テ ー マ
1	5月28日(土)	開講式 / 水防演習見学 / ドラムサークル&レクリエーション
2	6月18日(土)	16ミリ映画会 / 川辺の自然・ふるさと発見！ぶらり川めぐり
3	7月16日(土)	環境学習 実験！水の不思議 / 木下交流の杜見学
4	8月21日(日) ～22日(月)	自然体験！木・竹工作 千葉県立東金青年の家 林間合宿 (ウォークラリー・カホン工作・キャンプファイア・竹箸作り・ピザ作り)
5	9月10日(土)	アクティブに行こう！清水公園でわくわくアスレチック！
6	10月22日(土)	世界最大のマンモスに会おう！茨城県自然博物館見学
7	12月24日(土)	冬のわくわくモノづくり
8	1月21日(土)	みんなでクッキング！ふるさと料理「太巻きずし」づくり
9	2月18日(土)	見て触って楽しく学ぶ！ つくばエキスポセンター / 閉講式

活動の様子「第1回」

開講式 / 水防演習見学 / ドラムサークル&レクリエーション



第1回目は、開講式のあと、利根川河畔に移動し、水防演習を見学しました。

写真は日本赤十字奉仕団の方がアルファ化米の炊き出し訓練をしているところです。

アルファ化米は昨年の関東東北豪雨で被害のあった常総市にも救援物資として印西市から届けたそうです。

このあと、お昼にいただきました。おいしかったです。

右と下の写真は、利根川でおぼれた人を自衛隊のヘリコプターで救助するところです。

災害派遣のニュース番組ではよくみるヘリコプターですが、実際に近くで見るとすごい迫力でした。



右下に消防団員さんのヘルメットが見えています。たくさんの消防団員さんが洪水を防ぐための土嚢作りや水防工法などのさまざまな訓練をしていました。



お昼を食べた後、ドラムサークルをやりました。ドラムサークルとは、太鼓などの打楽器を使って、即興でのリズムアンサンブルを楽しみ共有するものです。友だちのうごきなどをよく見ながら、いろいろな珍しい楽器を演奏しました。

ドラムサークルの後は、じゃんけんを使ったゲームや「木の中のリス」、「猛獣狩り」など全身を使ったレクリエーションをして友だちづくりをしました。

今年の遊び発見隊・ジュニアコースでは、市内5つの小学校から4～6年生が集まって活動しています。1年間、仲良くいろいろなことにチャレンジし、大きく成長していきましょう。



活動の様子「第2回」

16ミリ映画会 / 川辺の自然・ふるさと発見！ぶらり川めぐり



午前中は16ミリ映写機を使って映写の仕組みを学び、「蜘蛛の糸」と「スタンド・バイ・ミー」を観ました。

午後は中央公民館の裏手から船に乗って川の中から印西市の自然や歴史を学びました。

船でしばらく進むと白鳥がたくさんいてびっくりです↓

たすきをかけている人は、いんざいぶらり川めぐり応援隊で、吉本住みます芸人「ゴールデンボーイズ」のうっほさんです。

木下には昔レンガ工場があって、中央公民館はそれを記念してレンガの外観になっていることや、川に浮か



んでいるペットボトルはゴミではなくて漁師さんのうきだということなど、いろいろなことを楽しく面白く教えてくれました。

うっほさん、渾身のギャグをたくさん披露してくれたのにリアクションがうすくてごめんなさいね。

活動の様子「第3回」

環境学習 実験！水の不思議 / 木下交流の杜見学



今日は「印西水と暮らしを守る会」のみなさんから、古くからあるせっけん（けん）と石油（せうゆ）を使って作られている合成洗剤（ごうせいせんじょう）の違い、環境（かんげい）に与える影響（えいじょう）などを教えていただきました。

そのあと、実際に自分たちでせっけん（けん）をつくってみました。

サラダ油（さらだあぶら）の廃油（はいあぶら）と苛性ソーダ（かせいソーダ）を一定（いじょう）の割合（わりあ）で空（くう）のペットボトル（ぺっとぼるとる）に入れ、よく振（ふる）って混ぜ（まぜ）ます。これが結構（けっこう）大変（たいげん）です。友だち（ともだち）と交代（かいたい）しながら混（ま）ぜて、混（ま）ぜ終わ（おわ）ったらプラスチック（ぷらすちく）の容器（くわうき）に入れて何日（なんじつ）か置（お）いておきま（お）す。その後（そののち）、しっか（し）り固（か）まったらできあ（できあ）がりです。



自分（自分）たちが毎日（まいにち）の生活（せいかつ）で少しだけ気（き）をつけること（こと）で自然環境（ぜんぜんかんげい）を守（まも）ることができ（でき）、健康（けんこう）にもいいことがわ（わ）かりました。

今日（けふ）食（た）べ終わ（おわ）ったお弁当箱（おべんとうばこ）は、自分（自分）たちでつく（つく）ったの（の）と同じ（おな）じせっけん（けん）で洗（あ）いました。すごくきれ（きれ）いになりました。

午後（ごご）は木下交流（きのしたこうりゅう）の杜（の）歴史資料（れきししりょう）センター（せんたー）で学芸員（がく芸員）さん（さん）から印西（いんせい）の歴史（れきし）を教（お）わりました。



活動の様子「第4回」東金青年の家 林間合宿 その1

「ウォークラリー・カホン工作」カホン演奏・キャンプファイア・



林間合宿 1 日目はとてもいい天気だったため2日目(雨の予報)に行く予定のウォークラリーを繰り上げて行いました。

途中でセミなどをつかまえながらウォークラリーを楽しんでいます。

まだ始まったばかりなので元気です。

「この神社の石段は何段あるでしょう?」という問題です。このあと、奥にたくさん石段があることをまだ知りません。この石段を登りきったあたりからだんだん疲れがみえてきたかな。

このあともチームワークよく問題を解き、無事に4キロの道のりをゴールしました。ちなみに全問正解でした!



午後は、南米ペルーの楽器「カホン」を作りました。教えてくれたのは島村楽器にカホンを卸しているプロの楽器製作者です。

環境や歴史も学習しながら、どうしたらうまくできあがるか自分で工夫しながらつくりました。

活動の様子「第4回」東金青年の家 林間合宿 その2

「カホン演奏・キャンプファイア」

自分で作ったカホンは接着剤が乾くまで使えないので講師の持ってきたカホンを使って演奏方法を教わりました。

同じ面でも叩く場所によって音が変わるので、うまく叩きわけて楽しいリズムをつくりま



食事は食堂で他の団体と一緒に食べています。

男子は早く遊びたくて少し早食いになっているような気が…。

当初の予報が変わり、夜間は雨が降らないとの予報になったので、このあと急いでキャンプファイアの準備をしました。

キャンプファイアのレクでは自分たちのつくったカホンをギターに合わせて演奏しました。

カホンの演奏もだんだん上手になってきています。

火の子のセリフもバッチリ決まり、思い出に残るキャンプファイアになりました。



活動の様子「第4回」東金青年の家 林間合宿 その3

「竹箸作り・すいかわり・ピザ作り・カホン演奏・ふりかえり」

2日目は朝の体操、掃除、朝食の後、竹箸を作りました。

あまり使ったことのない小刀を使って竹を削り、自分ピッタリの箸を作りました。

そのあとは、差し入れのスイカですいかわりをしました。棒が細かったせいもあり、当たっても真っ二つにはならず、全員に順番が回ってきました。



今日のお昼は自分たちでピザを作ります。まずは小麦粉に水やオリーブオイルを混ぜてこねます。楽しいです。

その後、生地をのばしてトッピング、窯で焼き上げて完成です。トマト、ピーマン、玉ねぎ、チーズなどのピザと、バナナ、チョコ、イチゴのピザを作りました。とても美味しくできました。

その後はカホンの演奏をし、今回の林間合宿で自分が立てた目標や全体の目標が達成できたかどうか、その理由やその他の感想をふりかえってバスで帰りました。大雨だったけど、バスの中ではみんなよく眠っていました。楽しく充実した林間学校でした。



東金青年の家 林間合宿 「参加した子どもたちの感想（一部）」

- ・みんなと仲良くして、きまりを守り、チャレンジできた！
- ・他の学年の子と仲良くできた。
- ・カホンと竹はしが楽しくできました。カホンでは作り方からえんそうのしかたまで教えてくれたサイトウグンマさんにかんしゃです。じょうずにできてよかったです。家で大切に使いたいです。
- ・今日の林間合宿でいろんな体験ができたし、友だちも増えてたのしい2日間だった。ご飯もおいしかったし、部屋も広くて友だちとジェンガをしたりしました。
- ・仲間と協力して活動し、林間合宿を思い切り楽しめた。
- ・楽しかった。でもつかれた。雨がつよくていっぱいぬれた。カホンを作れてよかった。家でも使いたい。
- ・コミュニケーション力が高まった。
- ・バス（レク）が楽しかった。
- ・新しく仲良しができた。
- ・ぼくは友だちが今日で2人できました。
- ・自然を大切にする心が育まれた。ものを大切にということがわかった。
- ・はじめて火の子になれたことがうれしかった。

活動の様子「第5回」

清水公園フィールドアスレチック

夏休みが終わり、新しい仲間が加わってますます元気いっぱい遊び発見隊員は、野田市にある清水公園フィールドアスレチックにチャレンジしてきました。

ここは、水上コースという池の上に作られたアスレチックコースで有名です。子どもたちは難関コースに果敢にチャレンジし、水に落ちこちながらも笑顔が絶えることはありませんでした。



一日中体を動かしましたが、帰りのバスの中でもまだまだ元気で、夏休みを終えて、ひとまわりたくましく成長した実感がありました。



《子どもたちの感想》

「水上コースの板に乗るのは、何回やってもいっぱいしくて楽しかったです。成功するときはずっとうれしくなりました。」

「前にも行ったことがあったけど、濡れたくないと思って水上コースをいやがったりしたけど、今回はみんな（班の人）

といっしょに入ってまた来たいと思いました。」

「つかれた。けど楽しかったです。またいきたいです。」



活動の様子「第6回」 茨城県自然博物館見学

10月下旬となり、少し肌寒さを感じるようになってきました。今日はバスに乗って茨城県坂東市にある茨城県自然博物館の見学です。

行きのバスレクとして、石川チーフから50問ほどクイズが出されましたが、宇宙のことや歴史のこと、地理やアニメのことなど、みんないろいろ知っていたのでチーフたちもびっくりでした。



自然博物館ではエントランスでマンモスの骨格標本がお出迎えです（左の写真）。あまりに大きくて写真に収めきれませんでした。

このほかにも地球ができる前から現代までの説明や、それぞれの時代に生きた生物の模型や標本、水槽での川や海の生き物の生態展示、外来生物の特別展示など、たくさん学ぶことができました。

午後は博物館の敷地にある自然観察フィールドで過ごしました。

ここには大きなトランポリンや展望台などの設備があり、自然観察ができるほか体を動かして遊ぶこともできます。一日中曇り空で気温も低かったのですが、自然の中で元気よく活動しているうちに体もあたたまったようでした。



今日は2人以上のグループになってバラバラで見学をしましたが、昼食の集合時刻など、各グループ時間を守って行動することができました。博物館内でのマナーもしっかりできていたようです。帰りのバスの中では頭の体操「10回クイズ」などをして楽しく帰りました。



活動の様子「第7回」わくわく工作・手作りケーキでクリスマス会

2か月ぶりの遊び発見隊となりました。いつもは中央公民館で活動していますが今日は初めて小林公民館で活動です。

午前中は、「シェーカーカード」を作りました。シェーカーカードは、透明なプラスチック板と厚紙とで蛇腹に折った枠をはさみ、中の空間にビーズなどをいれてシェーカー（マラカスのようにぶって音を出すリズム楽器）にした立体的なカードです。

日本ペーパーアート協会のペーパーアート講師、わくわくペーパークラフトを主催している講師にていねいに教えていただき、1人ずつ模様のちがう厚紙やかざりのイラストなどをつけて作っていきます。工作の得意な人もそうでない人も、自分のペースで紙を組み合わせ、両面テープを貼り、イラストに色を塗って、全員オリジナルのシェーカーカードを完成させました。



午後はクリスマス会のためのケーキ作りです。チーフ（担当の公民館職員）に教わって簡単にできる「パネトーネのいちごケーキ」を作りました。パネトーネはイタリアの伝統的な菓子パンで、クリスマスの時期に家庭で焼かれ、親族や友人に配る習慣があるそうです。

午前中の工作ではいまいち乗り気できなかった人も、ケーキ作りではノリノリでフルーツを切り、生クリームを絞り、これでもかというほどトッピングをしていました。⇒

できあがったケーキは調理室で一年間を振り返って来年も仲良くいろいろなことを学びましょうという気持ちでいただきました。



最後に、各自持ち寄ったプレゼントに番号をつけ、チーフが隠した番号カードを探してその番号のプレゼントをもらうという「宝探しプレゼント交換」でしめくりました。

活動の様子「第8回」房総の郷土料理 太巻き寿司づくり

&新春！房総かるた大会



各グループに1人ずつ先生についてもらって、丁寧に教えていただいたので、なれない^{まきす}巻き簾も上手に使うことができました。包丁の使い方やかたいかぼちゃの切り方も教えていただき、それぞれおいしそうな太巻き寿司ができました。太巻き寿司の他にもかぼちゃのポタージュスープを作り、お昼ごはんにみんなでいただきました。おいしかったですね！

年明け初めての活動は、小林公民館で定期的に活動している「あじさいの会（大正琴）」有志の方から、房総の郷土料理である太巻き寿司づくりを教わりました。



午後は一月らしく、かるた大会です。かるたは千葉県子ども会育成会が作成した「房総子どもかるた」を使いました。このかるたは「沼一面 野鳥が遊ぶ 印旛沼」などのように、千葉の名所や歴史を題材として作ったものです。2人1組でチーム総当たり戦を行い、6回試合を行いました。終わ

るころには千葉県の名所・歴史がすっかり頭に入ったことと思います。いよいよ次回は最終回です。インフルエンザが流行ってきましたが、みなさん元気に会いましょう！

るころには千葉県の名所・歴史がすっかり頭に入ったことと思います。いよいよ次回は最終回です。インフルエンザが流行ってきましたが、みなさん元気に会いましょう！



活動の様子「第9回（最終回）」

見て触って楽しく学ぶ！ つくばエキスポセンター / 閉講式

5月から活動してきた遊び発見隊も最終回になりました。今日は1985年に開催された「科学万博-つくば'85」の第2会場跡地につくられた「つくばエキスポセンター」を見学しました。つくばエキスポセンターでは、エネルギー、生命科学、地球環境学、物理学などのさまざまな科学とその技術を見て、触れて楽しく学ぶことができます。

近頃、寒暖差が大きく、インフルエンザの流行もあって欠席者も数名いましたが、バスの中では脳のトレーニング的なクイズで盛り上がりました。みんなの頭の回転が速くて、知恵を絞って考えた難しい質問も一瞬で答えられてしまうのでとてもびっくりしました。

つくばエキスポセンターに到着すると、さっそくいろいろな実験・体験のできる「おもしろサイエンスゾーン」で、プラズマや風力実験、エアバズーカや形状記憶、光の反射実験などに夢中でした。昼食後は、



世界最大級のドームを誇るプラネタリウムと全天周デジタル映像の特別番組「わくわく惑星探検」を見ました。視界すべてを埋め尽くす迫力の映像で、私たちの地球をふくむ太陽系のことがとてもよくわかりました。

公民館へ戻ってから、活動をふりかえって、楽しかったこと、これからやってみたいこと、行ってみたいところなどの話をし、修了証書を授与されました。この修了証書は、1年間いろいろなことにチャレンジして自分の可能性をたくさん発見し、大きく成長したことの証です。これからのみなさんに大きく期待しています！

